

# 生産性向上支援訓練 実施事例

## (株) タケマエ(山形県米沢市)さま



### 1. 会社概要

◆事業内容：オイルシール用金具の製造

◆利用コース

- ①② 品質管理基本
- ③ 生産現場の問題解決

◆実施時期

- ①②平成30年 6月～ 7月
- ③ 平成30年10月～11月

### 2. 課題及び訓練を利用した感想

弊社は、1981年6月に米沢市松ヶ岬にて、プレス金型の製作と削り出し品の加工を始めました。(NOK(株)福島事業場より受注生産。)

その後、現在地に工場移転。1986年12月に株式会社に組織変更し、現在自動車の自動変速機用部品を主に、月産250万個の生産を行っています。

弊社では、3年間の事業計画を作成する上で、本訓練を「人材育成のための訓練」として組入りたいと思い、ポリテクセンター山形様から詳細な話を伺いました。

対象者は中途採用社員で15名程度、カリキュラム内容は「生産管理」「品質管理」の基礎的なものと考え、また、日程は数班に分けて行いたいということで、相談をさせていただきました。

この訓練の最大のメリットが「当社内で講習が受講できる」ということでしたので、初級コースの「品質管理基本」のカリキュラムを7人と8人の班に分けて受講させていただきました。

受講者全員が品質に関する意識付けが高まり、日々の生産活動の中に品質用語で会話できるようになりました。

これを機にステージをアップしたカリキュラムを選び単年度で終わらず継続受講を計画していくつもりです。

(その後、10月～11月に「生産現場の問題解決」を受講させていただきました。)



代表取締役 竹前 秀夫さま

## 受講者の声

### Q：受講した感想はいかがでしたか。

私が所属している製造2課では新ラインが立ち上がりまだ間もなく、私をはじめ現在従事しているメンバーと試行錯誤しながら日々の生産業務に努めている最中でした。

そんな中、今回の訓練を受講して、QC 7つ道具を現場で活用する手法をメンバー全員で学び、共通認識することで、問題点の抽出から改善実行までを効率的且つ効果的に改善が行えるのでは感じました。

### Q：訓練で習得したことをどのように業務に活用していますか

現在は生産性向上、品質向上のためにメンバーで問題を抽出し改善活動を実行しているところですが、スムーズに進めることが出来ており、今後は更なる改善活動に活用していきたいです。



千葉 孝志さま（入社3年目）

# 生産現場の問題解決

TA02

## 概要

生産現場の問題を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。

(対象者)：機械部品加工業に従事する中堅社員

【日数/時間】 6日間/12時間(週1回)

【実施時間帯】 10:00~12:00

【定員】 8名

【受講料】 5,400円

## カリキュラム

1 日 目	1. 生産活動の基本 (1) 生産活動の基本 (2) 生産管理(生産計画)について
2 日 目	2. 現状分析とムダの発見 (1) ムダとは何か(最初に7つのムダを考える) (2) 現状分析・ムダの発見(現場の観察と気づきについて 観察→分析→改善)
3 日 目	3. 生産現場の改善 (1) 改善の手順 ・7つのムダから改善ポイントに入る ・現場作業を観察し、その中身から入る (2) 効果的な改善のためのポイント ・作業の再配分(工数低減のやり方) ・現状の把握(良い例、悪い例の見極め) ・不良をつくらぬ検査 ・ポカヨケ ・4S活動と現場改善のつながり ・改善時の判断基準
4 日 目	3. 生産現場の改善 (3) 自社の生産現場の改善演習の準備 ・自分の職場での「ムダ」を抽出 ・抽出した「ムダ」を7つのムダに区分 ・改善実施計画案作成の準備(区分した「ムダ」から改善項目の整理) (4) グループ討議(各改善項目についてどのようにすればできるか検討)
5 日 目	4. 演習・グループ討議 (1) 自社の生産現場の改善演習(改善実施計画案の作成) ・7つのムダの再整理(実施可能性の検討) ・改善提案が実践につながるか現場観察 ・現場観察・確認の結果、実践するための課題の練り直し
6 日 目	・改善実施計画案の発表 5. 応用・実践 (1) 現場改善の成果や振り返り、改善や工夫を検討

お申込み・お問い合わせ



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部

**ポリテクセンター山形** (山形職業能力開発促進センター)

生産性向上人材育成支援センター(生産性向上支援訓練担当)

〒990-2161 山形市漆山1954

Tel 023-686-2008 Fax 023-686-2808

# 品質管理基本

TA01

## 概要

品質管理の考え方を理解し、QC7つ道具を使って課題への対処ができる知識、技能を習得する。

(対象者)：機械部品加工業に従事する新入社員、中途採用社員

【日数/時間】 6日間/12時間 (週1回) 【実施時間帯】 A班 (10:00~12:00)  
B班 (13:00~15:00)  
【定員】 A班8名、B班7名 【受講料】 5,400円

## カリキュラム

1 日 目	1. 品質管理の考え方 (1) 品質管理と品質保証について
2 日 目	2. QC7つ道具 (1) グラフ、チェックシートの概要と使い方
3 日 目	2. QC7つ道具 (2) パレート図、特性要因図の概要と使い方
4 日 目	2. QC7つ道具 (3) ヒストグラム、管理図の概要と使い方
5 日 目	3. 演習 (1) QC7つ道具の使い方演習 (2) 層別、散布図の概要
6 日 目	4. 応用・実践 (1) 品質管理の会社に於けるあるべき姿

## お申込み・お問い合わせ



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部

**ポリテクセンター山形** (山形職業能力開発促進センター)

生産性向上人材育成支援センター (生産性向上支援訓練担当)

〒990-2161 山形市漆山1954

Tel 023-686-2008 Fax 023-686-2808